

JP100 河北潟・高松海岸 (かほくがた・たかまつかいがん)

石川県：金沢市、かほく市、内灘町、津幡町

位置	N 36° 39′ E136° 40′
面積	2,700ha

環境構成【潟湖／砂浜】

河北潟は内灘砂丘によって海と隔てられてできた潟湖で、かつては水深1～2mの浅い汽水湖で周囲の水田も腰まで沈むような湿田であったと言われる。現在は干拓により1,400haの干拓地と800haの淡水湖となり、周辺には排水路が整った水田が広がっている。干拓地は牧草地、畑地、ハス田などに利用されているが、一部の遊休地にはセイタカアワダチソウやヨシなどが群落をつくっている。内灘砂丘の海側は砂浜海岸で、かほく市高松から内灘町まで約16kmに渡って砂浜が続いている。



写真：中村正男

選定理由

A1	トモエガモ
A4i	ミュビシギ
A4iii	カモ類

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10パーセント未満）である

<保護指定の内容>

県指定鳥獣保護区（高松）

保全への脅威

- ・海岸の浸食による生息域の減少
- ・海岸への漂着ごみ
- ・河北潟周辺水田の乾田化

保全活動

- ・環境管理：実施団体（日本野鳥の会石川）
内容：河北潟干拓地の除草作業について協議

河北潟干拓地の有害鳥獣駆除について協議

高松海岸清掃について協議

- ・環境教育活動：実施団体（日本野鳥の会石川）

内容：ツバメの埒観察会 河北潟

シギ・チドリの観察会 高松海岸

- ・モニタリング調査：実施団体（日本野鳥の会石川）

カモ科鳥類一斉調査 河北潟

シギ・チドリ類カウント

- ・その他：

釣り、ボート愛好団体との湖面利用のルール作りや協議（日本野鳥の会石川）

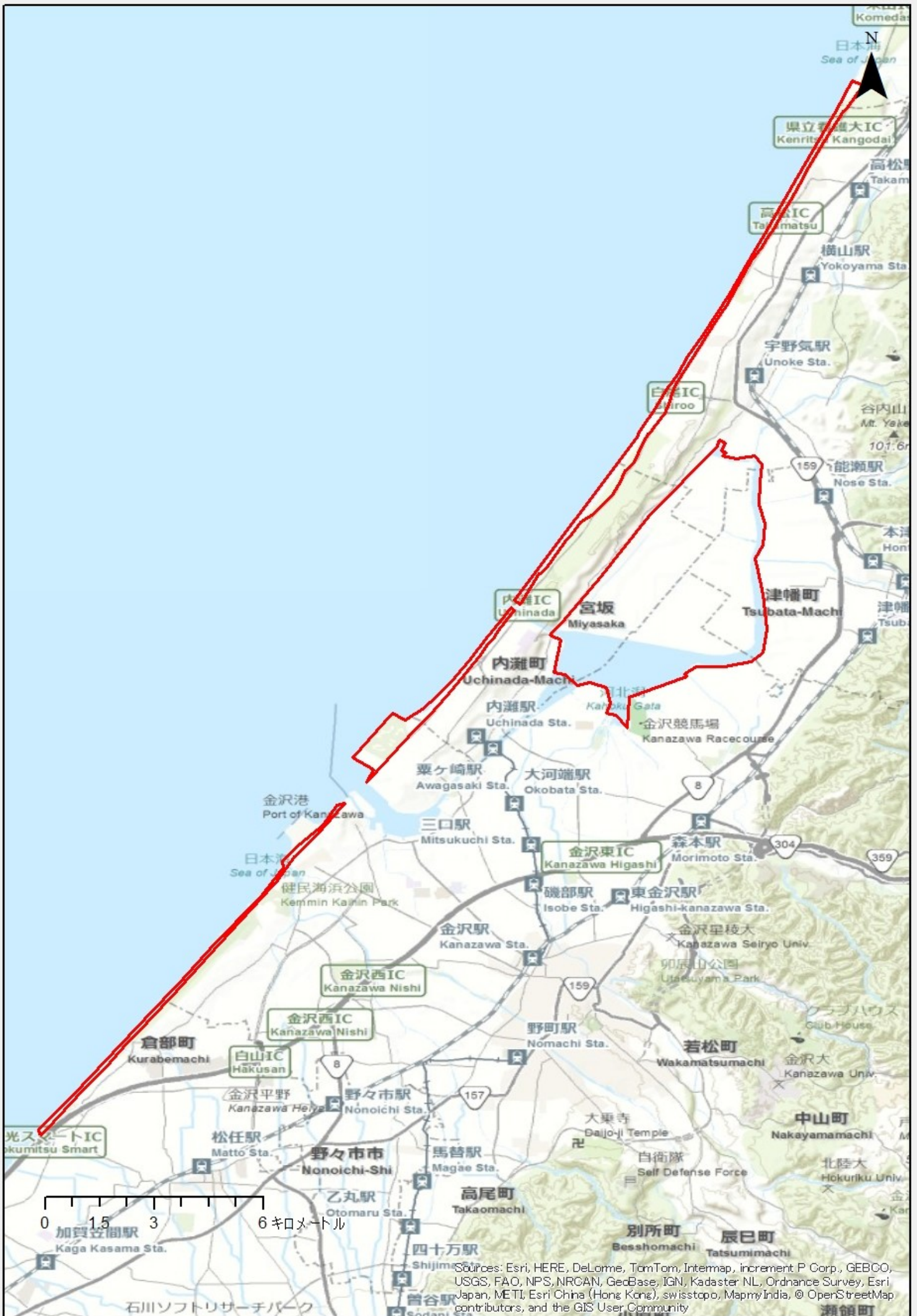
見られる鳥

河北潟ではヨシゴイ、チュウヒ、コジュリンなどが繁殖し、冬にはトモエガモをはじめ20,000羽を超すカモ類が越冬する。ノスリ、ハヤブサなど猛禽類も多い。高松海岸はシギ・チドリ類の渡りの中継地であり、春秋にはハマシギ、トウネンの大群が飛来し、ヘラシギの記録もある。また毎冬400羽のミュビシギが越冬する。

留鳥	カイツブリ、カンムリカイツブリ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ミサゴ、チュウヒ、チョウゲンボウ、オオバン、シロチドリ、イソシギ、カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ
夏鳥	ヨシゴイ、ササゴイ、アマサギ、チュウサギ、コチドリ、ケリ、カッコウ、ツバメ、オオヨシキリ、コヨシキリ、ホオアカ
冬鳥	マガン、ヒシクイ、コハクチョウ、マガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、クロガモ、ビロードキンクロ、ミコアイサ、カワアイサ、タゲリ、ミュビシギ、ハマシギ、ユリカモメ、セグロカモメ
旅鳥	ムナグロ、ダイゼン、トウネン、ヘラシギ、ツルシギ、アオアシシギ、タカブシギ、キアシシギ、チュウシャクシギ、アカエリヒレアシシギ
迷鳥	カラシラサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、サカツラガン、ハイロガン、ナベヅル、マナヅル、クロヅル、ズグロカモメ、カラフトアオアシシギ、ウミガラス

関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会石川



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCo, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community